

つるみの和風庭園とは？



鶴見区に残る日本の原風景

みなさんは、鶴見区に市内でも珍しい和風庭園があることをご存知ですか？
かつて馬場花木園の一带は、丘と丘に挟まれた谷筋にある「谷戸」で、周囲の山から得られる豊富な湧水や湿地で農耕が営まれていました。

つるみの「谷戸」にある古民家と和風庭園で、日本の心の『原風景』に触れ、心も体もリセットしてくれる癒しの空間へタイムスリップしてみませんか？

～つるみで四季を味わう～

馬場花木園では、季節によってさまざまな花を楽しむことができます。春にはサクラとボタン、夏には花木園の代表とも言えるハスが花を咲かせ、秋には紅葉を、冬にはウメを楽しむことができます。



▲旧藤本家主屋 座敷
旧藤本家 土間▶



令和元年、馬場花木園は古民家が加わり、魅力アップ！

令和元年11月、馬場花木園に、横浜市認定歴史的建造物の古民家「旧藤本家住宅主屋及び東屋」が加わりました！起伏のある谷戸の地形と茅葺屋根の建物、池に注ぐ主屋の前庭にある流れなどは、往時の雰囲気そのまま残しています。



主屋の裏を歩くと、かつて使用されていた瓦が足元に隠れているよ！



夏

夏の簾戸→冬の障子

主屋は、夏は簾戸(すだれの戸)、冬は障子で、季節にあわせて入れ替えるんだよ。

冬



アクセス JR「鶴見」駅西口から

- 川崎鶴見臨港バス鶴01系統「東高校入口」下車徒歩8分
- 横浜市営バス41系統または38系統「西寺尾建功寺前」下車徒歩8分